

日本英語学会第33回大会
ワークショッププログラム
2015年11月21日(土) 9時30分から11時45分まで
関西外国語大学

(ワークショップ)

第1室 「日英談話比較研究の英語教育への貢献」

(教室棟 (1号館) 1階 1110教室)

責任者：野村佑子 (立教大学)

司会者：野村佑子 (立教大学)

発表者：多々良直弘 (桜美林大学)

「批判のディスコース：日英語話者はどのように批判を展開するのか」

発表者：野村佑子 (立教大学)

「語りにおける直接引用による心情描写：英語との比較から」

発表者：植野貴志子 (東京都市大学)

「語りに対する共感的理解の提示ー日・英語の女性友人同士会話の比較分析」

発表者：工藤貴恵 (日本女子大学)

「日英語会話における話題の開始・終了部の比較」

発表者：八木橋宏勇 (杏林大学)

「日英語談話研究と英語運用能力の熟達化ー知識としての談話パターン、スキルを涵養する英語教育ー」

ディスカッサント：藤井洋子 (日本女子大学)

第2室 「日英語を対象にした Mirativity 研究：統語論・意味論・語用論の観点から」

(教室棟 (1号館) 2階 1207教室)

責任者：島田雅晴 (筑波大学)

司会者：島田雅晴 (筑波大学)

発表者：五十嵐啓太 (筑波大学大学院)

「日本語における Mirativity の体系について」

発表者：本多正敏 (筑波大学大学院)

「英語における Mirativity の統語的具現化について」

発表者：島田雅晴 (筑波大学)

「Mirativity 解釈の由来と情報構造について」

第3室 「周縁部の統語論と形態論」

(教室棟 (1号館) 2階 1208教室)

責任者：田川拓海 (筑波大学)

司会者：田川拓海 (筑波大学)

発表者：田川拓海 (筑波大学)

「周縁部の周縁部と形態の分布：FinP、ForceP と屈折、終助詞」

発表者：那須紀夫 (神戸市外国語大学)

「トピック、フォーカス、モダリティの相互関係について」

発表者：乙黒亮 (早稲田大学)

「述語の形態的特性と周縁部の統語構造」

(スチューデント・ワークショップ)

第4室 「言語実践における日英語比較研究：言語・非言語の両観点から」

(教室棟 (1号館) 2階 1215 教室)

責任者：鹿野浩子 (日本女子大学大学院)

司会者：高梨博子 (日本女子大学)

発表者：櫻田怜佳 (日本女子大学大学院)

「パブリック・スピーチにおける日英語の談話構造」

発表者：阿部あかり (日本女子大学大学院)

「日英語タスク談話におけるイントネーションの使用と機能—話し手の自信の無さに着目して—」

発表者：鹿野浩子 (日本女子大学大学院)

「タスクデータから見られる擬似独話における指示詞の共有概念」

発表者：小澤 雅 (日本女子大学大学院)

「日英語会話における明示的・非明示的指示表現に見られる指標性」

第5室 「意味研究における文脈の役割：認知意味論の新展開」

(教室棟 (1号館) 2階 1216 教室)

責任者：堀内ふみ野 (慶應義塾大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)

司会者：大谷直輝 (東京外国語大学)

発表者：堀内ふみ野 (慶應義塾大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)

「空間と談話の接点：*above* と *below* のテキスト指示用法を例にして」

発表者：野中大輔 (東京大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)

「文脈から見る場所格交替：図と地の選択を越えて」

発表者：第十早織 (慶應義塾大学大学院)

「文法知識と相互行為の接点：*co-construction* を例にして」

* ハンドアウトは各企画責任者が発表会場に用意します。部数には限りがありますので予めご了承ください。

* 各ワークショップ会場の詳細につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。